

2009-7-1

# ふじさわ・九条の会ニュース



NO17

発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 斉藤隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>

## ふじさわ・九条の会4周年集会 -502名参加-

### 神田香織さんの講談「哀しみの母子像」に涙!

5月16日、湘南台市民シアターホールで、「ふじさわ・九条の会」4周年記念集会が行われました。昨年に引き続き、今年も地域九条の会と共催で行い、当日は502名の皆さんに参加して頂きました。

当初は、澤地久枝さんの講演を頂く予定で取り組んで来ましたが、集会の直前に白内障の手術が行われることになったため、急遽、講師を講談師の神田香織さんをお願いして集会を行いました。直前の講師の交代で集会参加が減るのではないかと懸念もありましたが、当日は502名の方に参加頂き、参加券は全部で800枚こえる販売が



出来ました。

神田さんのお話は、1977年横浜市緑区で起きた米軍のジェット機墜落事件で亡くなった母子3名の苦しみ、哀しみ、怒りを「哀しみの母子像」という講談にしたもので、母の子を思う気持ち、哀しみ、絶望、怒りそして廻りの人々の賢明の支えが、神田さんの



真に迫る語りで参加者の涙を誘いました。

なお、当日は、日大マンドリンクラブの9名学生の皆さんが「となりのトトロ」「君をのせて」「涙そうそう」の3曲を演奏、澄んだマンドリンの調べにしばし耳を傾けました。

集会後に行ったアンケートでは、「非常に怒りを覚えた。なぜ一般の人がまきこまれなければならなかったのか、なぜ、政府と米軍は適切な対処が出来なかったのか。9条という最後の砦をなくしてはならないと改めて思った」と感想を寄せて頂いた市内の学生さんもいました。

当初講演を予定していた澤地久枝さんから「今日、皆様と意思をかわしたいと約束しながら、思わぬ事で伺えません。体調を整え、回復の後お目にかかる機会を得たいと思います」とのメッセージが寄せられました。

—小林—



## 4周年集会で、 六会・法泉寺住職、酒井さん挨拶 「宗教者も思いは同じ」



4周年の会場で、挨拶に立たれた六会・法泉寺住職の酒井さんは、実に簡潔に9条の大切さをお話しされた。

仏教には5つの戒めがあり、その一番に説かれているのが「不殺生の戒」と言い、最も大切な教えだという。戒めということだから、「人として、してはいけないこと」の一番が、「命を奪ってはいけない」ということだ。なかでも戦争によって人と人が殺しあうことは絶対にしてはいけないこと。だからこそ戦争をおこさせないために、憲法9条は大切にしなければいけないと話され、ご自身は宗教者として迷わず9条の会に賛成したとおっしゃっていた。

また、ひとりが10人、100人、千人、万人と、広めていけば大きな力となる、と力強く会場に集まった方々に呼びかけられた。

—折原—

## —鎌倉・九条の会4周年集会— 人間らしく生きられる社会を！ 内橋、湯浅、小森3氏が語り合う

5月30日、鎌倉芸術館で、鎌倉九条の会4周年集会在開かれた。内橋克人氏、湯浅誠氏、小森陽一氏3氏の「人間らしく生きられる社会を」をテーマにした話し合をお聞きした。

21世紀の幕開けは、世界中が眼を疑った9/11から始まった。人間らしく生きることの難しい現在のプロローグであった。労働をして生活するあたり前の人間らしい生き方困難になった多くの人は、非正規社員、派遣社員等の雇用破壊が貧困のスパイラルを作った。子どもたちが平等に教育を受ける権利も奪われ「職なくば人間の尊厳もない」と内橋克人さんは言う。

2008年暮、都会のど真ん中、官庁街の目の

前、日々谷公園に作られた派遣村は、湯浅村長や多くの労働組合、ボランティアの人々によって生存を支える受け皿になったが、本来は社会保障によって支えられる性質のものではなかったか。厚生労働福大臣が年越し用に講堂を提供した一時的措置は決して美談とは言い難く、むしろ恥ずべきこと。

自衛官を名乗り「9条を守り頑張してほしい、9条があるうちは海外派遣の現場は、自衛艦にとって職場であるが、9条が無くなれば、即そこは戦場になってしまう」という小森さんの報告は印象的だった。

鎌倉には「昭和33年8月10日制定の平和都市宣言」「昭和48年11月3日制定の鎌倉市民憲章」がある。藤沢にも昭和57年6月22日制定の藤沢医核兵器廃絶平和都市宣言がある。「日本憲法の精神に基づく国の平和と安全と・・・」明記されている。この宣言は、藤沢市民一人一人のものであり、この宣言を誇り高く掲げ、憲法の精神を守り通す「ふじさわ・九条の会」であり続けようではありませんか。

—坂本敏江さん投稿—

## 憲法・平和問題に消極的な 海老根市政2年目の問題点

海老根市長は、施政方針では平和政策や核兵器廃絶課題を積極的に推進するとしているのに、実際は、憲法・平和問題には消極的政策をとっている。具体的には

- ①、今まで基地対策を担当していた渉外課を廃止し、共生推進課を設け、基地対策を男女共同参画と同じ担当課で取り扱いにし市民が分かりにくい施策をとっている。
- ②、多くの市民が反対している江の島ライトアップ事業に海上自衛隊の「掃海艇」の招致を今年も続けるとしている。
- ③、これまで毎年行われてきた憲法記念日の行事を廃止し、また憲法改悪に道を開く国民投票法が強行された下で藤沢でも準備のためのシステム改修の予算が盛り込まれた。

このような平和を願う市民に背を向けた施策でなく、憲法を市政に生かした平和事業を推進し、米軍基地の再編に反対し、ジェット機爆音を解消し、平和の町を目指すべきです。 —河西—



## 藤沢市に於ける 教科書問題を巡る動き

いま、中学校の歴史教科書に、いわゆる「新しい歴史教科書をつくる会」の人たちが、「扶桑社」と「自由社」の二つの出版社から同じような内容の歴史教科書をだしました。同じような内容の教科書を別の出版社から出さざるを得なかったということは、彼らの中に大きな矛盾があるということです。しかし、ここではそのことに触れません。問題はその内容です。それは、社会的に問題になった（前航空幕僚長）田母神氏の論文？を地でいくような内容です。日本国憲法の基本的特徴である「国民主権」「基本的人権の尊重」「戦争を放棄し戦力を持たない」を否定していく内容になっています。「国民主権」には天皇の美化を、「基本的人権の尊重」には自分を犠牲にして国家の要請に応える精神の強調を、「九条」には「大東亜戦争」という表現による侵略戦争の美化を対置してきています。私たちは改悪された「教育基本法」による教育内容を憲法、九条の考え（思想）で押し返していく闘い（活動）を具体化していく必要に迫られているのだと思います。（斉藤 隆夫）

## 身近に九条の会を作りたい！ 「藤が岡周辺地域九条の会」発足

身近な所、隣近所で「九条の会って大切ね」という会話をしたり、宣伝できるといいなあ、と思っています。

藤が岡、大鋸、西富、弥勒寺という藤沢市の中央地域には、現在九条の会賛同者は、たった40人ほどです。今まで、ニュースは数人で手配りしてきましたが、1年くらい前から時々集まってビデオを見たり、藤が岡生協の店頭で「9の日」の行動のチラシを配ったりして来ました。

そろそろ、このグループに名前を付け、地域九条の会にしようということになりました。

6月20日に藤が岡市民の家で集まりを持ちました。会の名称は「藤が岡周辺地域九条の会」と決まりました。当面の連絡先は、下記の通りです。

藤が岡地域 渡辺聖子  
大鋸地域 井上一恵 福永雪子 金子不二子  
西富地域 田島祥子 一金子一

## ふじさわ・九条の会 「湘南メーデー」に参加



5月1日奥田公園で行われた湘南メーデーに、ふじさわ・九条の会メンバーも参加しました。来賓として斎藤事務局長が挨拶しました。集会の後デモ行進が行われ、ふじさわ・九条の会の旗を持って行進しました。

## 「ふじさわ・九条の会」9の日行動 6月で、連続50回実施

2006年の結成の翌月から開始した「ふじさわ九条の会9の日行動」も、6月で連続50回を数えました。主として藤沢駅サンパール広場で実施して来ました。約600枚のチラシを手作りで配布しています。今年も9の日行動を続けてゆく事になりました、1月の成人の日と5月の憲法記念日以外は、9の日と行動日を決めていますので、会員の皆様もご参加下さい。

### 私の戦争体験記—第4集— 原稿募集します ×切10月末日

ふじさわ・九条の会の定期発行物として毎年1冊づつ発行し、昨年第3集まで出版してきた「私の戦争体験記」を今年も発行します。

実際に、戦争を体験された方もだんだん少なくなって参りましたが、戦中、戦後の思い出を残したいという希望もありサブタイトルを「語り継ごう戦争の記憶」と題して第4集を発行することと致しました。

×切は10月末、字数は誌面関係で1500字程度、発行は年内とします。多くの皆さんの応募をお待ちします。原稿は、会の役員、ニュース担当までお寄せ下さい。

—小林—



# 5月30日

## 全体集会を開催

### 今年度の活動方針決める

2009年度の活動方針について全体集会では二つの補強意見がでました。一つは賛同者に会議の様子や九条の会の活動について、もっとうまく伝わるようにして欲しいという趣旨の意見でした。二つ目は「憲法改悪につながる法案に反対する運動をすすめます。」と書いてあるが、その運動をすすめるためにも憲法25条に繋がる格差社会反対の闘いと一緒になって活動をする必要がある、という意見でした。私たちは戦争の温床になりやすい格差・差別社会に反対する闘い、環境破壊に反対する闘いと連動した活動をしていくことなしには「九条」も守れないと考えています。従って、この二つの意見は補強意見としてとりこみたいと考えます。

と同時に、九条としての独自の宣伝活動も強める必要があります。今年度の特徴としては地域九条の会のみなさんと相談して、地域を決めて、チラシの全戸配布を考えます。具体的な地域については世話人会議で話し合い地域九条の会と相談して、実行に移していきたいと思えます。みなさまのご協力をお願いします。

事務局長 齋藤隆夫

## <事務局だより>

### <今期役員体制>

2009年度全体集会で確認された役員の方は下記の通りです。 一敬称略一

#### 世話人(38名)

青柳節子 浅野陽子 井上一恵 槐 一男 大山正雄 岡村孝子 折原美知子 河西 昇 金子不二子 川崎 健 久保博夫 國枝 健 桑原玲子 見城次子 小出岩雄 小林麻須男 紺野君子 齋藤隆夫 坂本敏江 崎山 稔 佐藤 厚 島田啓子 白崎勇次郎 鈴木圭子 田島祥子 永田陽子 早坂喜美子 深谷健二 保坂治男 堀内陽子 曲田 弘 向井毬夫 村木 薫 横山 照 吉鶴美

智子 渡辺聖子 渡辺博明

#### 事務局(10名)

事務局長 齋藤隆夫  
 事務局次長 小林麻須男 島田啓子 堀内陽子  
 会計 永田陽子  
 事務局員 金子不二子 久保博夫 佐藤 厚  
 曲田 弘 渡辺聖子  
 会計監査 見城次子

### <会計報告>

2008年4月～2009年3月までの1年間の会計報告

収入の部	2,180,176円
繰越金	1,241,769
賛同金	37,500
会員振込	258,500
イベント収入	423,700
財政活動	71,330
支出の部	986,781円
イベント会場費	118,950
講演料	240,000
通信費・メール代	200,510
広告費・宣伝費	139,820
事務費・運営費	287,501
次期繰越金	1,193,415円

上記の通りです。

会計 永田陽子 見城次子

## <当面の日程>

7月9日 9の日行動 サンパール広場 15:00～  
 17日 事務局会議 推進センター 18:30～  
 29日 世話人会 " 18:30～  
 8月9日 9の日行動 サンパール広場 15:00～  
 15日 ふじさわ・不戦のちかい 16:00～  
 19日 事務局会議 推進センター 18:30～  
 29日 世話人会 " 13:30～  
 9月9日 9の日行動 サンパール広場 15:00～  
 18日 事務局会議 推進センター 18:30～  
 28日 世話人会 " 18:30～

### <学習会・講演会の予定>

山田朗さん 9月19日

澤地久枝さん 11月6日(金)夜

藤沢市民会館小ホール